

No. 1375 (二〇二三年一月一日)号から

No. 1375 (二〇二三年一月一日)号

■巻頭言■

「敵基地攻撃能力」の保有は、

平和国家から戦争国家への転落

「5%」要求は高い？

― 23春闘を考える ―

組織強化に力つくせ

― 新社会「参院選の総括・方針」について ―

職場労働者への「安全配慮」は会社の義務だ

世界と日本の洋上風力発電

読者からのおたより

森 勉

編集部

木山 誠二

本村 充
原 野人

No. 1376 (二〇二三年二月一日)号

■巻頭言■

どこまで反動化するか独占資本とその政権

情勢について (I) 国内

◇信州 松本 通信◇

上野反合研のみなさまへ

反労働者政策が明らかに

憲法も平和も労働者のたたかいに！

大阪府警本部前に反弾圧元日集会

読者からのおたより

中澤 秀行

原 野人
編集部

沢井 清

No. 1377 (二〇二三年三月一日)号

■巻頭言■

情勢について (II) 世界

国労上野反合研方針2023年

闘う労働組合の再生なくして乗客の安全安心なし！

― 苦闘9時間＋4時間の物語！ 京都・山科 ―

巨大風力発電計画に異議あり！

裏に原発の再稼働あり？

原野人さんの本誌文章を新社ネット（奈良）に紹介

― 稲村守さんから届いた来住弘之さんの配信 ―

読者からのおたより

編集部だより

編集部

稲村 守

相沢 瑞男

No. 1378 (二〇二三年四月一日)号

■巻頭言■

23春闘について

福島原発事故から13年目を迎えて

―まったく進まないデブリの取り出し―

関電本店から高浜原発までのリレーデモ実施

―老朽原発うごかすな！ 実行委員会決定

情勢について(世界)―動向(歴史)

読者からのおたより

伊勢 太郎

原 野人

稲村 守

編集部

No. 1379 (二〇二三年五月一日)号

■巻頭言■

資本の洗脳(思想攻撃)に抗す(上)

23春闘に見る独占資本の思惑

―輝かしい春闘の歴史の終焉―

魂を抜かれた資本論(上)

私が労働審判に訴えたわけ

鉄路廃止・バス転換方針の再考を訴えます

読者からのおたより

伊勢 太郎

山下 俊幸

原 野人

山田 芳夫

佐野 周二

学習講演会のご案内

▽日時 2023年4月23日(日曜日) 受付 13時30分から(講演14時から)

▽場所 八王子クリエイトホール10階(第2学習室)

(八王子駅北口から徒歩4分。カラオケ館目印、

ヨドバシカメラを通って20号『甲州街道』方面へ

▽テーマ 今をどう見る！ 社会の本質を暴く

「現代社会のマインドコントロール(思想攻撃)を切る」

▽話す人 「社会通信」編集長 滝野忠氏

▽主催 反合理化研究会(連絡先 みのわやすおみ 090 8496 3610)

No. 1380 (二〇二三年六月一日)号

■巻頭言■ 生産性向上 二つの潮流(中)

◇統一地方選 北海道音威子府村から◇

遠藤村長誕生

小西、杉山、玉田村議も再選

JR東 春闘はどのように闘われたか

今、改めて「生産性向上運動」を批判する

魂を抜かれた資本論(下)

読者からのおたより

国労上野反合研

山下 俊幸

原 野人

伊勢 太郎

杉山 均

No. 1381 (二〇二三年七月一日)号

■巻頭言■

S D G s は生産性運動そのもの

―大政翼賛会への基礎づくり―

「講演会」を終えて！

2023年春闘をどう見るか 反撃の条件は

国民生活が困窮、犯罪、墮落

―窮乏化法則の貫徹―

汚染物質は電力資本の敷地外に拡散させるな！

読者からのおたより

伊勢 太郎

蓑輪 泰臣

本村 充

山下 俊幸

原 野人

No. 1382 (二〇二三年八月一日)号

■巻頭言■

「脱炭素社会の実現」とは何か

最近の選挙の動向

G7広島サミット

―現代資本主義とウクライナ戦争―

鉄路の切り捨ては許さない

―根室本線 住民の足を守る―

リニア新幹線とJR東海

―『週刊ダイヤモンド』特集号から―

23・6・10 米軍Xバンドレーダー基地撤去！

読者からのおたより

京丹後現地集会

佐野 周二

蓑輪 泰臣

稲村 守

No. 1383 (二〇二三年九月一日)号

■巻頭言■

現代政治と小選挙区制導入(一)

敵を知り戦争に反対する力を強化するために

『被差別部落に生まれて・・

石川一雄が語る狭山事件』を読んで

感想―第29回新社会党大会

私の大会発言

木山 誠二

稲村 守

伊勢 太郎

原 野人

◇資料1◇

新社会党第29回定期全国大会議案修正案(新潟県本部)

◇資料2◇

新社会党第29回定期全国大会議案修正案(神奈川県本部)

読者からのおたより

No. 1384 (二〇二三年十月一日)号

■巻頭言■

現代政治と維新の党

乗った、乗りました ローカル線

ー霧幻峡の渡し船 只見線の旅ー

日本最古の老朽高浜原発1号機が再稼働強行された！

新社会党員に訴えます

ー第29回大会報告と団結強化の課題についてー

党の現状を斜めから見ると

読者からのおたより

伊勢 太郎

滝野 忠

稲村 守

木山 誠二

原 野人

No. 1385 (二〇二三年十一月一日)号

■巻頭言■

そごう・西武労組ストライキ

たたかいへの支持の声広がる

汚染(処理)水の海洋放出は即時中止せよ！

ー海洋放出を永久に中止して、第二原発の敷地の活用をー

牧田正樹・新潟県議選挙上越市選挙区で初当選

老朽原発うごかすな！ 関電前「一食断食」行動

古典に学ぶ

ー向坂逸郎著「マルクスと現代」の学習で学ぶものー

◇資料◇『朝日新聞 デジタル』

根室本線最後の夏

読者からのおたより

金平 博

原 野人

橘田 秀美

蓑輪 泰臣

No. 1386 (二〇二三年十二月一日)号

■巻頭言■ ストライキ

改めて『牙を抜かれたマルクス主義』(原野人著)のすすめ

次世代に継承すべきは『理論と実践』

国労東日本大会発言から

国労東京地本大会発言から

実質賃金は低下 実態から反撃を

一国のみで労働者階級は勝利できるか

ーマルクス・エンゲルスの理論に基づく党建設と国際連帯が不可欠ー

読者からのおたより

伊勢 太郎

山下 俊幸

国労上野反合研

本村 充

原 野人